第1回市民講座のご案内

震災は私たちに何を教えたのか？医療・介護現場から

本音で語る広場：in 福島

まげでらんに 福島 2011.03.11

助成：公益財団法人　在宅医療助成　勇美記念財団

第1部　13 時～14 時 40 分　介護家族が体験した震災と原発事故

私の介護体験から　今だから言える、言いたい放題

あの時・・・介護現場で起こった事は・・・

それまでと、それから介護者が感じている

医療・介護現場に望むこととは

第 2 部　14 時 50～16 時 20 分

今・・・介護・医療現場に何が必要なのか?

市民の方々の生の声を、私たちはどう捉え、これからの仕事に

どう生かしていくのか、現場の実情に必要とされることは何か？

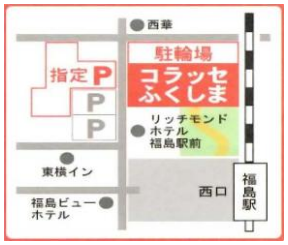
皆さんお声をお聞かせください！

アドバイザー：村松静子氏　≪在宅看護研究センターＬＬＰ代表≫

日時：平成 23 年 10 月 9 日(日曜日)13：00～16：30 受付 12：30～

場所：コラッセふくしま　４階　会議室４０１

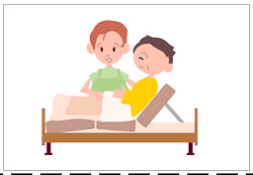
コラッセふくしま有料駐車場利用可
(30分まで無料、以降30分毎100円)



福島市三河南町１－２０

福島駅西口徒歩３分

定員：５０名　　参加費：無料



主催：福島中央市民医療生活協同組合

訪問看護ステーション すかわ：担当　保（タモツ）

問い合わせ先：０２４－５３１－６８６０

参加ご希望の方は下記へご記入の上 FAX をお願い致します。

FAX 番号　　０２４－５２６－７８３２

お名前：　　ご職業（お立場：ご本人あるいはご家族など）：

ご連絡先（住所、電話番号いずれか）：